

第15回日本レクリエーション学会大会行事

研 究 発 表

1. 日 時 10月28日(月) 午前9時～午後14時30分
2. 場 所 三重厚生年金休暇センター
(☎516 三重県伊勢市八町池の上1165-1 Tel 0596-39-1200)

理 事 会

1. 日 時 10月28日(月) 午前11時45分～午後12時45分
2. 場 所 三重厚生年金休暇センター 会議室

総 会

1. 日 時 10月28日(月) 午後1時～1時30分
2. 場 所 三重厚生年金休暇センター 会議室(ふれあい)
3. 議 題 1) 1984年度決算報告
2) 1985年度予算案審議
3) その他

学会大会記念シンポジウム

1. 日 時 10月28日(月) 午後2時30分～午後4時30分
2. 場 所 三重厚生年金休暇センター 会議室(ふれあい)
3. テーマ 「地域文化とレクリエーション」
○実践報告
「地域社会でレク文化の定着をめざして」
演者 丸山 正(八王子市レクリエーション協会事務局長)
○パネルディスカッション
「地域文化・市民文化の形成に果すレクリエーションの意義と有効性、
そして今後の課題」
パネリスト
田畑 貞寿 (千葉大学助教授) …司会
足立 省三 (中日新聞論説委員) …地元ジャーナリスト
鈴木 忠義 (東京農業大学教授) …観光・レクリエーション論
田中 祥子 (津田塾大学教授) …レクリエーション社会学
川村 英男 (本学会東海支部長) …体育・スポーツ研究

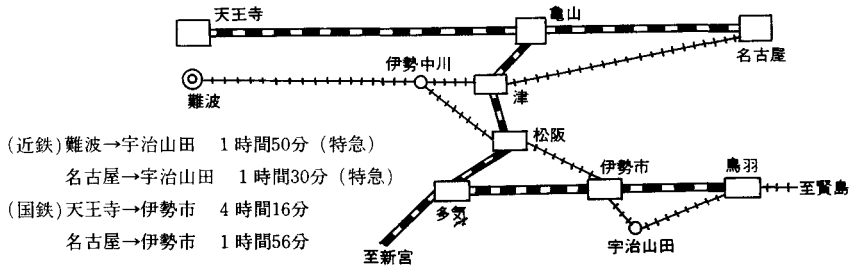
会員懇親パーティー

1. 日 時 10月27日(日) 午後7時～9時
2. 場 所 三重厚生年金休暇センター レストランはまゆう
3. 参 加 費 3,000円

日 程 表

時 日	8:30	9:00		12:00	1:00	1:30	2:30	4:30	6:30	7:00	9:00
10/27 (日)										受 付	会員懇親 パーティー (三重厚生年金 休暇センター)
10/28 (月)	受 付	研 究 発 表	研 究 発 表	昼 食 理事会	総 会	研究 発表	シンポジウム				

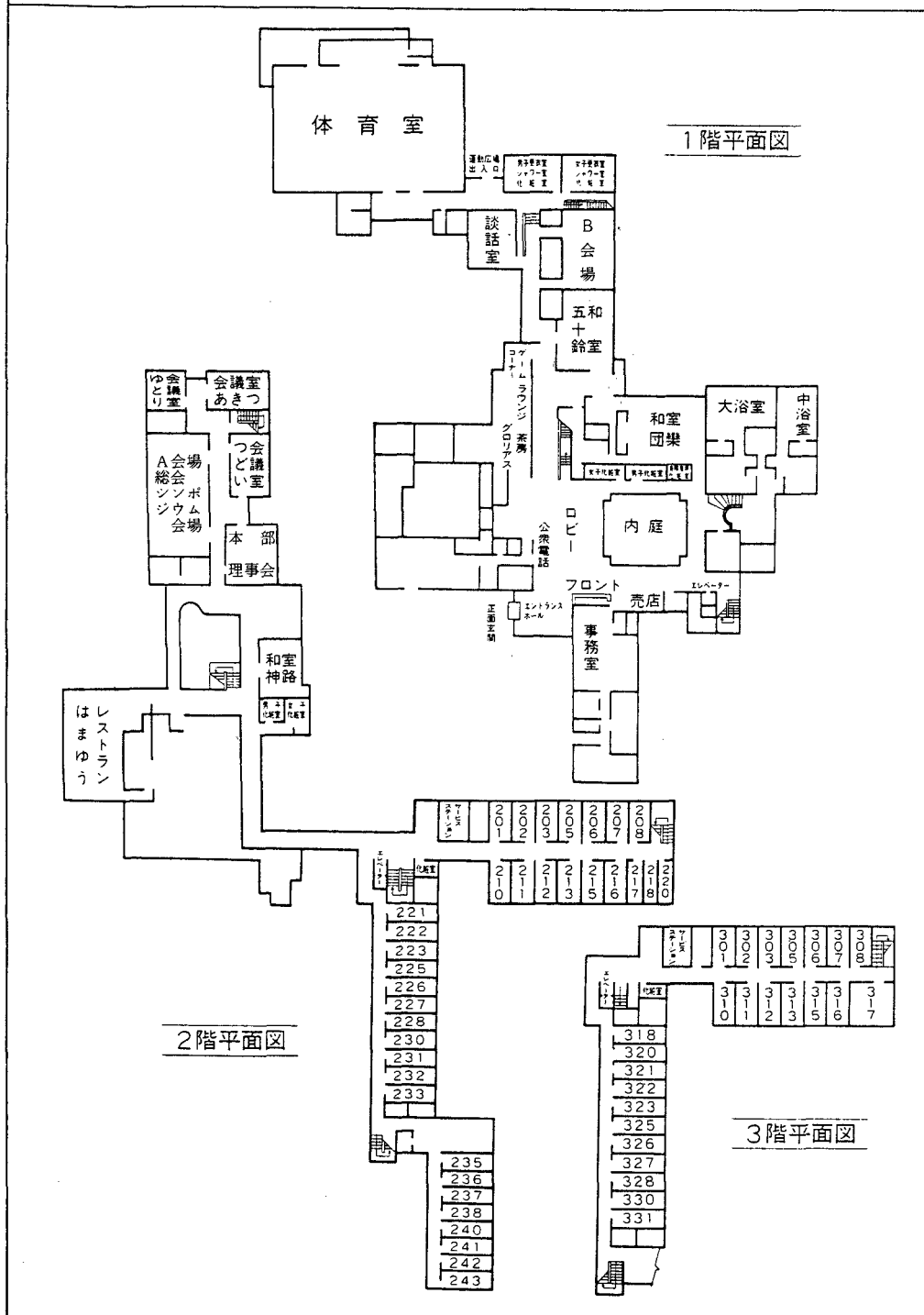
県外参加者主会場への交通案内 (国鉄・近鉄)



伊勢市内案内図



会場（三重厚生年金休暇センター）配置図



大 会 組 織

名 譽 會 長	三笠宮崇仁親王殿下	
名 譽 顧 問	小 川 寿 一	(大阪成蹊女子短期大学)
"	高 橋 眞 照	(淑 徳 大 学)
"	三 隅 達 郎	(国 際 基 督 教 大 学)
"	山 崎 進	(第 一 経 済 大 学)
會 副 會 長	江 橋 慎四郎	(鹿 屋 体 育 大 学)
"	浅 田 隆 夫	(目 白 学 園)
"	梶 山 彦三郎	(福 岡 大 学)
監 事	青 木 泰 三	(大阪薫英女子短期大学)
"	鈴 木 忠 義	(東 京 農 業 大 学)
"	深 町 一 夫	(松 戸 商 工 会 議 所)
実 行 委 員 長	高 橋 和 敏	(東 海 大 学)
実 行 委 員	秋 吉 嘉 範	(福 岡 教 育 大 学)
"	池 田 勝	(鹿 屋 体 育 大 学)
"	今 井 毅	(日 本 体 育 大 学)
"	金 崎 良 三	(九 州 大 学)
"	木 下 茂 徳	(日 本 大 学)
"	進 士 五 十 八	(東 京 農 業 大 学)
"	鈴 木 秀 雄	(関 東 学 院 大 学)
"	蘭 田 碩 哉	(日 本 レ ク リ エ ー シ ョ ン 協 会)
"	田 中 祥 子	(津 田 塾 大 学)
"	田 中 鎮 雄	(日 本 大 学)
"	田 畑 貞 寿	(千 葉 大 学)
"	仲 村 要	(同 志 社 大 学)
"	夏 目 暁	(神 戸 市 立 母 子 寮 ひ よ り 荘)
"	西 野 仁	(東 海 大 学)
"	長 谷 川 純 三	(筑 波 大 学)
"	日 比 野 朔 郎	(京 都 府 立 大 学)
"	藤 本 祐 次 郎	(日 本 体 育 大 学)
"	前 野 淳 一 郎	(特 ス ペ ー ス ・ コ ン サ ル タ ン ツ)
"	松 浦 三 代 子	(東 京 女 子 体 育 大 学)
"	松 原 洋 三	(立 教 大 学)
"	宮 下 桂 治	(順 天 堂 大 学)
"	渡 辺 貴 介	(東 京 工 業 大 学)
事 務 局 長	西 野 仁	(東 海 大 学)
事 務 局 員	浅 野 晃	(日 本 レ ク リ エ ー シ ョ ン 協 会)
"	麻 生 恵	(東 京 農 業 大 学)
"	梅 津 迪 子	(女 子 聖 学 院 短 期 大 学)
"	川 向 妙 子	(東 海 大 学)
"	寺 島 善 一	(明 治 大 学)
"	芳 賀 健 治	(東 京 家 政 学 院 大 学)
"	師 岡 文 男	(上 智 大 学)

(運 営 委 員 会)

委 員 長	高 橋 和 敏	(東海大学)
副 委 員 長	藤 田 匡 肖 進 士 五十八	(三重大学) (東京農業大学)
本 部 長	西 野 仁	(東海大学)
三 重 県 事 務 局	藤 田 匡 肖 他	(三重大学)
受 付	師 岡 文 男	(上智大学)
研 究 発 表 A 会 場	寺 島 善 一	(明治大学)
研 究 発 表 B 会 場	川 向 妙 子	(東海大学)
理 事 会	西 野 仁	(東海大学)
シ ン ポ ジ ュ ム	芳 賀 健 治	(東京家政学院大学)
接 待	梅 津 迪 子	(女子聖学院短期大学)
補 助 役 員	東海大学大学院生 筑波大学大学院生 中京大学大学院生	
*協 力	日本レクリエーション協会 第39回全国レクリエーション大会三重県実行委員会	

日本レクリエーション学会大会の推移

1965年から1971年3月までの6年間、日本レクリエーション研究会として年1回研究大会を開催し、「レクリエーション研究」第1号～第6・7号を発行して地道な実績をかためた上で、日本レクリエーション学会は1971年3月に誕生した。

日本レクリエーション学会15年間の学会大会についての推移は次の通りである。

回	年度	開催場所	発表 演題数	講演数	シンポ ジウム 数
1	1971年	北九州市戸畑文化ホール（福岡県）	21	—	—
2	1972	日本都市センター（東京都）	34	—	1
3	1973	水戸市常陽銀行会議室（茨城県）	21	1	—
4	1974	唐津市市立文化会館（佐賀県）	18	1	—
5	1975	徳島県郷土文化会館（徳島県）	20	—	—
6	1976	秋田大学教育学部（秋田県）	19	—	—
7	1977	富山大学教養部（富山県）	30	—	—
8	1978	横浜市教育文化センター（神奈川県）	20	—	—
9	1979	徳山大学（山口県）	14	—	—
10	1980	石川県社会教育センター（石川県）	22	1	1
11	1981	国立婦人教育会館（埼玉県）	30	—	2
12	1982	日名子ホテル（大分県）	22	1	1
13	1983	北浜労働センター（大阪府）	28	—	1
14	1984	鹿屋体育大学（鹿児島県）	20	1	1
15	1985	三重厚生年金休暇センター（三重県）	20	—	1

参加者への御案内

1. 受 付

10月28日（日）午前8時30分より受付を行います。下記参加費をお支払い下さい。事前に参加費を送金された方は、送金時に郵便局から渡された「郵便振替払込金受領証」を当日ご持参の上、ご提示下さい。

正会員・特別会員	1,500円
学生会員	1,000円
名誉会員・賛助会員	無料
全国レクリエーション大会参加費納入者	無料
その他一般の方	2,000円

2. 本 部

センター内会議室まどい

3. 車輦の入構について

入構および駐車可能です。駐車場をお使い下さい。

4. 休憩と食事

センター内の食堂が営業していますのでご利用下さい。

5. 会場内禁煙のお願い

発表会場内は禁煙です。喫煙は、喫煙所でお願いたします。

（発表者へのお願いとお知らせ）

1. 発表 受 付

各発表会場の入口で発表受付を行います。各自の発表時刻の30分前までに受付をすませ、「次演者席」におつき下さい。

2. 発表 資 料

研究発表50部、シンポジウム100部を発表受付時に提出して下さい。資料には、必ず演題番号（例・A-1, A-2）、演題、演者氏名を明記して下さい。

3. スライド

スライド映写を希望される方は、発表受付にあるホルダーに、各自で順序正しく正像に写るように挿入して、発表20分前までに発表受付にご提出下さい。スライドの大きさは、35mmフィルム用の標準マウント（50×50mm）に限ります。

4. 発表時間

発表12分、質疑討論7分程度です（10分一ペル1回、12分一ペル2回、19分一ペル3回）。

（座長へのお願いとお知らせ）

各発表会場の入口で座長受付を行います。座長開始30分前までに必ず受付をお済ませいただき、開始20分前までに「次座長席」におすわり下さい。

時間を厳守して進行させるようにご協力下さい。

発表取消などで空き時間ができた場合は、討論や休憩にあてられるなど、自由にご裁量下さい。

（討論者・質問者へのお願い）

挙手のあと、座長の合図を待って、所属、氏名を告げたのち、参加者にわかるように発言して下さい。

次回「大会発表論文集」投稿の御案内

(編集委員会)

今回の「大会発表論文集」は、従来の「レクリエーション研究」とは異なる前掲(表紙裏)の暫定的な投稿規程により投稿を受け付けました。しかし、規定の不備および説明不足から投稿者の皆様に御手数をおかけする結果となりました。投稿規定に関し、今後、編集委員会および理事会の審議を経て次の点を補足、修正する方針であります。お気付きの点がありましたら編集委員会まで御連絡下さい。

- ① 英文での投稿は、「大会発表論文集」では受け付けない。ただし、従来の「レクリエーション研究」では受け付ける。
- ② 英文要約、和文要約は不要です。
- ③ 図・表の文字は活字で入れる。
- ④ 活字(特に図・表の活字)の大きさに注意すること。B4版の原稿が製本時にはB5版に(半分の大きさ)に縮小されます。9ポイント以下の活字はできるだけ使用しないで下さい。
- ⑤ 手書き原稿により審査をしますが、審査員に配布するためのコピー3部を必ず添付すること。また、審査して頂く論文ですので、できるだけ読みやすい字体でお願いします。
- ⑥ 返信用封筒、切手を忘れずに同封すること。今回は切手を封筒に貼って頂きましたが、次回より一律800円分程度の切手を同封して頂き、使用しなかった切手は投稿者に返送するシステムにしたいと考えております。
- ⑦ キャンセルの場合には必ず連絡すること。
- ⑧ 論文の構成(目的、方法、結果および考察など)および書式(注釈、引用・参考文献等)に注意すること。特に書式については、今回の「大会発表論文集」を参考にして下さい。
- ⑨ タイプした原稿は4枚以上6枚以内で、できるだけ偶数枚(4・6枚)にして下さい。5枚の場合、製本時には見開きの右側ページが余白となります。また、6枚以内に収まらない場合の処置については現在検討中です。
- ⑩ 所定の用紙の外枠からはみ出た文字は、製本時に判読不能となる場合があるので、必ず枠内に収めるようにして下さい。

「大会発表論文集」発行の手順

